



参加型イベントも併催し、楽しめるアートな空間づくりを提供



旧米蔵を活用した会場でアートと食にふれる

「赤穂恵美子 染展」「枝村佐門 七宝彫金展」「石田一平 作陶展」を開催し、作家との交流をはかるワークショップを展開した。また、芸術祭全体に関心を持ってもらい、他会場を巡ってもらうためのインフォメーションブースを設置し、情報発信と働きかけを行った。三人の作家の作品展示だけでなく、コンサート・ワークショップ・作品を用いたランチ会といった参加型のイベントも会期中に組み込むことで単なるアート鑑賞の場に終始することなく気軽にアートを楽しめる空間づくりができた。その結果、予想以上の来場者となった。「コンサート・ワークショップなどを通じて単に作品を鑑賞するだけでなく演奏者や作家との交流ができて楽しかった」「作家の器でランチ会は、作家の製作した器に盛り付けられた料理を食すとともにお土産として器そのものも持ち帰ることができる非常に珍しい企画で驚いた」「『生活に根ざしたア

ト』という考え方に共感した」「野外アートの展示があることで蔵の休館日でもアート鑑賞を楽しめた。また、作品説明が作品理解の手助けになり有用であった」など来場・参加された方から感想をいただいた。企画展の他に関連イベントも行うことで来場者の満足度が前回よりも高くなったと感じた。またバスツアーのコースに組み込まれた効果もあり、これまでの高齢女性中心の来場者ではなく、幅広い年齢層の男女から来場してもらい、来場者層の変化を実感した。

■ 赤穂恵美子：新潟市内で活動する染物作家

■ 枝村佐門：新潟市南区出身の七宝工芸家。国内では作り手が少ない「泥七宝」を得意とする。

■ 石田一平：田上町発祥の「土生田焼(はにゅうだやき)」を得意とする陶芸作家。金網に陶器を挟んで作る「陶画」と呼ばれる壁掛け作品も製作している。

(文：佐藤)

- 7月14日(土)～7月29日(日) 赤穂恵美子「染展」(杜の蔵)
- 9月8日(土)～9月17日(月・祝) 枝村佐門「七宝彫金展」(杜の蔵)
- 9月22日(土)～10月8日(月・祝) 石田一平「作陶展」(杜の蔵)